

さが四季彩の森林づくり推進事業 保育・イベント業務委託

協働の相手(名称)	矢筈区、神六区、神六山地区環境林実行委員会		
事業年度	平成18年度～(協働は平成19年度から)		
県の担当部署	武雄農林事務所 林務課林務担当	直通電話0954-23-5113	
県の予算額	2,579千円	協働の形態	イベント、事業協力

目指す姿

環境林内のダム上流域森林の水源かん養機能等の多目的機能を維持増進させるため、森林整備及び耕作放棄地の植林、竹林改良などの「こだまの森林づくり」を県民協働により推進する。

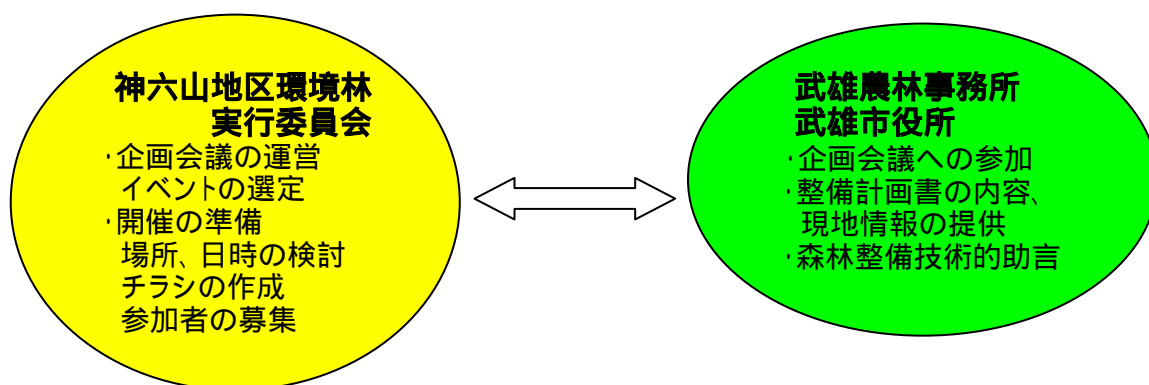
事業概要

神六山環境林の森林整備にあたり
 ・耕作放棄地の植林を県が実施し、下刈り保育を地域住民の協力により実施する。
 ・任意団体である神六山地区環境林実行委員会と県が、地域住民の意見を反映させた計画の立案、県民参加を呼びかけ県民協働で森林の整備を実施する企画会議の運営からイベントの実行までを協働で実施するものである。

協働の背景

神六山環境林には、山内町と西川登町に大きなダムを持っており、上流域の森林は高度な水源涵養機能が要求されている。この流域の整備を県民協働で推進していくため、県、市、地域住民の代表者と協議していく中で「昔の山に戻したい」との意識が高まり、近年問題となっている侵入竹林の除去と除去した竹の有効利用を模索する中から生まれた、竹を使ったイベントへの参加を通して森林・水に対する住民の理解と愛着を醸成しようとの意見がまとまり、「山内町商工会」が核となって地域ボランティア団体の参画を得て「神六山環境林実行委員会」が設立された。

協働の内容



協働の成果

- ・地区代表を神六山地区実行委員会委員に選任しており、その呼びかけにより環境林内の森林整備に対する関心や意識の高まりから、イベントにも多数の参加があった。
- ・保育事業を地区へ委託することにより、自分たちも参加しているという意思の高まりから委託した以上の手入れが実施され、より地域に根ざした取組となった。

県民のメリット

住民参加の森林づくりに、地域外からの参加も多数見られ、県民協働による森林づくりへの関心が助長された。

今後の展望

環境林内の森林整備を継続的にするため、神六山実行委員会が核となって保育事業に対するNPO法人の参加や、今回のイベントの地域興しイベントへの発展など、県民参加による森林づくりの輪へと広げて貰いたい。

除去した竹を活用した鬼火焚きイベント



竹林を広葉樹の森林へ変えよう



耕作放棄地を広葉樹の森林へ



竹で星を作ろう

